

# 地域づくり活動

## 愛知県地域づくり活動フォーラム

令和6年1月25日(木)13:30～

愛知県立大学(長久手キャンパス)

学術文化交流センター(K棟)B1多目的ホール

**活動表彰:**次世代の防災担い手の育成活動、  
保育園～小～中学校の防災学習を重視  
世代に応じ防災学習の支援継続取組み  
**団体名:**武豊町防災ボランティアの会

# 武豊町の活動事例

防災・担い手の育成「保育園～小～中・高校・地区自主防災会」  
「防災カリキュラムからパッケージ化した防災取組みの継続」

地域をつなぐ・防災リーダー・ 防災ボランティア コーディネーター・の団体  
(あいち防災リーダー・災害ボランティアコーディネーター・武豊町防災リーダーで、平成21年に団体を構成)  
武豊町防災ボランティアの会・現在は、会員70名が活動しています。

# 武豊町のご紹介・「災害想定と防災・減災」取組み

## 武豊町

人口 43,309人

世帯数 18,802戸

(前年+269) 2023年6月

**災害リスクは南海トラフ巨大地震**

(理論上最大被害想定をモデルとして)

**武豊町被害想定**・・・ **第3次地震対策**

最大震度 7

津波 55分後到着

最大津波高 3.2m～

人的被害 500人 ⇒ **200人以下に・**

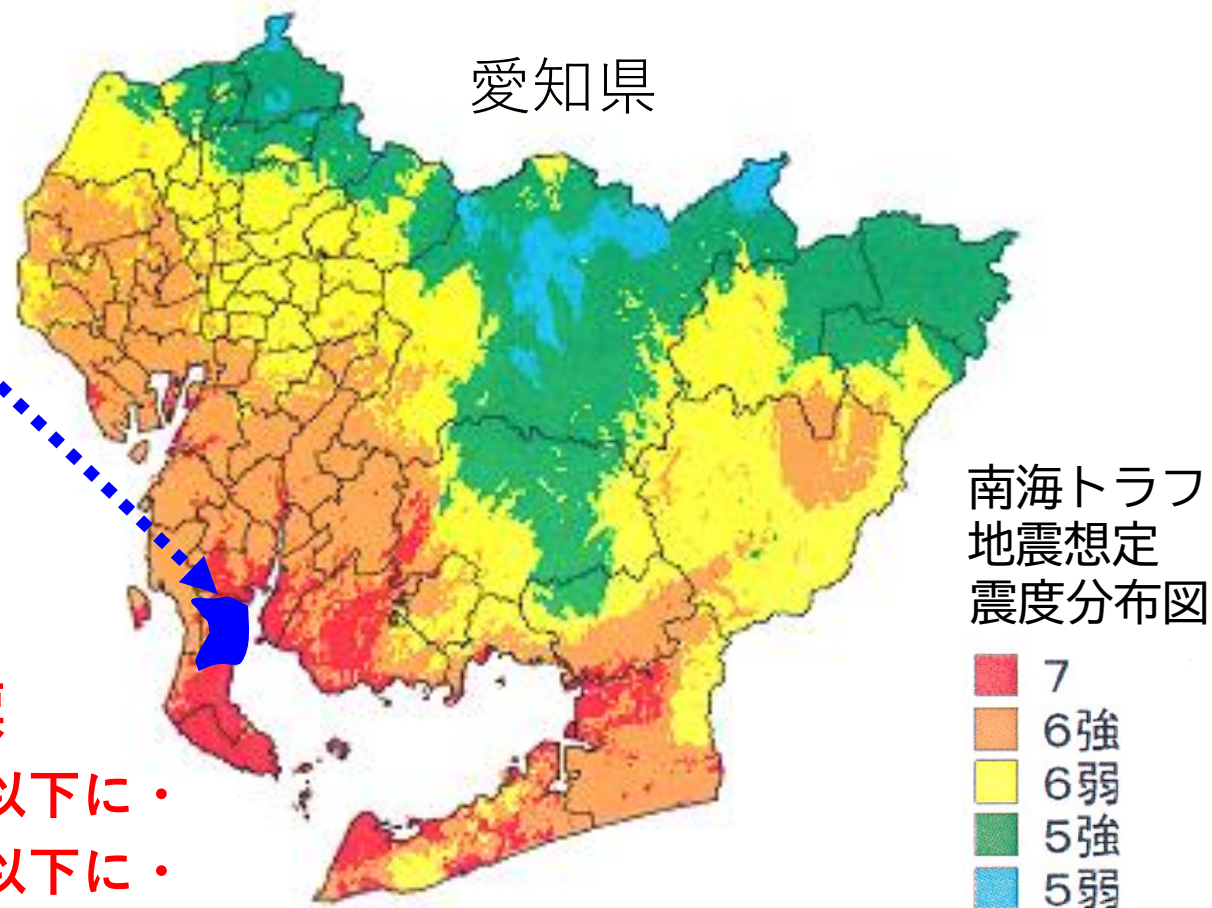
建物被害 7300棟 ⇒ **2900棟以下に・**

**アクションプラン**による

**減災目標**

**減災対策は、防災リーダー養成による防災力アップ**

理論上最大想定モデル・・・あらゆる可能性を考慮し最大クラスを想定、



武豊町防災ボランティアの取組み

活動は、防災の「担い手を育成」する・町の防災力強化です。



武豊町防災ボランティアの会では、  
防災・減災活動のカリキュラム集をつくり

保育園・小中高校・地区自主防災会・行政内を横断的に協働・

授業単元に合せ「パッケージ化した防災教室」を継続・

・地域と学校をつなぐ・防災リーダーと、V・コーディネーターの団体

それが、武豊町防災ボランティアの会、地域づくり活動です。

※ カリキュラム=教育課程・履修課程 ※パッケージ化=組み合わせて ※V・=volunteerの略

## ・防災ボランティアの会、担い手育成の活動とは・・・

◇活動は、防災カリキュラムを「パッケージ化」して、個人防災力を活かして実効性を高めて、防災知識は、災害から学び、常に会員のフォローアップに努めている。

◆防災教育を情操教育の一つと考え、防災啓発や防災訓練での気づき等・・・  
知的**好奇心**を育てる体験型防災学習を「**園小中高**」で継続実践している。

◆活動は、本会の防災カリキュラム集から、単元に合せて学習テーマを選択して、  
学校で授業日程を調整、学校の負担を極力最小化して提案をしています。

# 特徴は「防災カリキュラムをパッケージ化」したこと!

◇防災リーダーは、防災ボランティアの会に所属し、平時の活動により防災意識の維持継続を図る。

これは、防災・減災知識を見聞きし、学んで来たことを活かすことになる。

- ・地域(コミュニティ-)防災を支えるには、個人防災力の向上と担い手の育成が必要です。  
災害に強い“まちづくり” 被災地で被災者になっても、支援者になれる人づくりをする..
- ・町の防災力を支える年代が高齢化するなかで、防災・減災活動を継続し向上させるには、これまでの個人防災力を活かし「担い手の育成」に役立つことで、やりがいを引き出す。  
これが防災・減災活動を継続させる“やりがいのしんずいではないかと思っています。  
遣り甲斐 真 髓
- ・学校防災で求められるのは、防災学習品質です。防災カリキュラム集から組立て、単元に合せ「パッケージ化した防災カリキュラム」にしたことで、学校負担を極力最小化しました。
- ・目指すは、防災と福祉を融合した「**防災コミュニティ-**」の **まちづくり**

※パッケージ化 = 組み合わせて ※コミュニティ- = 共同体・地域社会 ※しんずい = 人の心を動かす奥義

活動目的は防災の担い手育成・・・「提案型協働事業」を10年継続取組み・・・  
 ・町教育委員会:小中高校・子育て支援課:保育園・地区自主防災会・行政各部と信頼関係の構築

《事業年度》	《提案型協働事業・毎年取組みテーマ	・その後取組みの継続状況》
平成25～26年	①.園・小・中校・防災啓発パル提供とパッケージ化した防災教室支援事業	
平成26～27年	②. 園舎避難検証と校内転倒落下備品点検、	(①継続)
平成27～28年	③.中学生防災リーダー養成事業	(①継続)
平成28～29年	④.中学生防災リーダー養成事業	(①継続)
平成29～30年	⑤.中学生防災リーダー養成事業	(①継続)
平成30～31年元年	⑥.津波避難対象地区の避難経路点検と周知事業	(③継続)(①継続)
令和元年～令和2年	⑦.水災害ハザードマップに基づく避難行動の周知事業	(③継続)(①継続)
令和2年～3年継続	⑧.学校防災学習と自主防災組織コラボレーション事業	(③継続)(①継続)
令和3年～4年継続	⑨.水災害ハザードマップに基づく避難行動の周知事業	(③継続)(①継続)
令和4年～5年完了	⑩.水災害ハザードマップに基づく避難行動の周知事業	(③継続)(①継続)

- ◇行政協働部署 : 企画政策課、防災交通課、産業課、都市計画課、土木課、総務課、福祉課、子育て支援課  
 ◇教育委員会 : 学校教育課「中学校2校、小学校4校」 県立武豊高校「保育園8園、児童館4館」  
 ◇社会福祉協議会: 武豊町ボランティアセンター各団体「サロン・婦人会・等々」 民生委員  
 ◇町内自治会(区): 全18区自主防災会、 ◆近隣市町への活動事例講話や啓発活動支援  
 各学校や自主防災会・組織の防災プランナーとして、町内の保育園や活動団体の防災啓発活動を支援・・・  
 行政・教育委員会・園小中高、地区自主防災組織、各団体などと幅広く親交を深め活動しています。

# 防災カリキュラム(教育課程)をパッケージ化して提案!



## 地元コミュニティ誌2017年6月号

**みんな知っとこ! 防災・防犯っ!**

【目次】

1. 武豊町の防災・防犯活動の現状と課題  
2. パッケージ化した防災学習の内容  
3. 避難訓練、防災訓練、防災教育の重要性  
4. 避難訓練の重要性  
5. 防災教育の重要性  
6. 防災教育の重要性  
7. 防災教育の重要性

2017年6月号 コミュニティ誌

## 地元コミュニティ誌2019年6月号

**みんな知っとこ! 防災・防犯っ!**

【目次】

1. 武豊町の防災・防犯活動の現状と課題  
2. パッケージ化した防災学習の内容  
3. 避難訓練、防災訓練、防災教育の重要性  
4. 避難訓練の重要性  
5. 防災教育の重要性  
6. 防災教育の重要性  
7. 防災教育の重要性

2019年6月号 コミュニティ誌

学校保育園に取組み紹介した事例:



## 取組事例 保育園 ≪パッケージ化した防災学習≫

◇カリキュラム集から構成した園児へのイメージ学習

◇危険から身を守る「言葉」と「行動」を習う

- 1.紙芝居で(防災ことば)、絵で(行動)イメージを習う。
- 2.防災マン体操で(自分を守る方法)を習う。
- 3.起震車で地震の揺れと(身体の守り方)を習う。
- 4.防火煙体験は、煙から逃げる(避難行動)を習う。
- 5.園外避難訓練では(集団行動・自らの安全確認)を習う。

## 取組事例 起震車体験と緊急地震速報

緊急地震速報が聞こえたら、頭を守る行動をして揺れに備えるよう、指導しています



※写真はコロナ禍以前の記録です。  
コロナ対策をして、取組みを継続しています

## 防災紙芝居

災害についてイメージできる

9



## 防災マン体操

楽しく体を動かすうちに  
防災行動が身につきます。



煙体験では  
姿勢を低く  
ハンカチで  
守ります。



# 津波避難歩行訓練

災害は待った無し・・・  
雨が降っても訓練します。

じしんが おさまったよ・  
ぼうさいマン たいそうをしますよ・  
ことばやどうさをおぼえます。



学校との継続的な取組みを実現するには、信頼関係(実績)に加えて、学校の仕組みを認識し、単元(カリキュラム構成)に合わせて学校の意向に柔軟に対応しながら、教師の支援をすることです。

学校側の不安(壁)を取り除くには、内容をパッケージ化することで、防災・減災知識について一定の学習品質が可能と考えました。

学校の不安は学習品質と負担(手間)です。効果測定は、作文で同調の心理影響少なく、児童生徒の感想を知ることが出来る。

## 取組事例 小学校 ≪パッケージ化した防災学習≫

\*総合的な学習の内容について、事前にシラバス作成し提案

### 総合的な学習 4小学校の学年別にテーマ設定して提案 防災を通して「いのちを守る・すべ・を知ろう」

学年 : 学校の総合的な学習での防災指導ポイント

1年生 : 命の学習・災害から大切な“いのちを守ろう

2年生 : 心の学習・かなしいこと・被災者の気持ちを考える

3年生 : 地震体験・命を守る・非常持出し品と枕元準備品を学ぶ

4年生 : 地震災害を知る・登下校で地震が起きたらハザードマップづくり

5年生 : 地震はなぜ起きる・地震のメカニズムと町の備えを知ろう

6年生 : 避難所体験・自助・共助・公助みんなで生きよう

## 小学事例

防災学習は、防災カリキュラム集からプランを組立て、防災ガイドブックを活用、学校負担を極力最小化する。

＜小学校5年取組み例＞ \*カリキュラム集から単元に合せてパッケージ化します。

テーマ組立 防災ボランティア提案：協働の領域：小学校・3年・4年・5年生

防災取り組案 ⇒ 学習案策定 ⇒ 内容調整 ⇒ 学習のねらいの検証 日時の決定

- |             |                     |       |                   |
|-------------|---------------------|-------|-------------------|
| 1.地震・津波・液状化 | ①③④⑧⑨⑩⑪⑫            | 45分単元 | 災害を知り・備えを考え・発表する。 |
| 2.町の備え自主防災  | ⑬⑭ 10テーマ<br>⑮⑯ 2テーマ | 90分単元 | 町の備えと取組みを知る。      |



### 《現在取組みの主なカリキュラムをご紹介》

- ①地震体験車ゆれ体験 ②濃煙体験 ③地震 ④津波 ⑤豪雨 ⑥洪水 ⑦気象（台風）  
 ⑧避難 ⑨非常品 ⑩防災学習パネル ⑪災害写真パネル ⑫地震液状化実験 ⑬家具固定  
 ⑭耐震模型 ⑮地域の備え町歩き探検 ⑯自主防災倉庫見学と児童の防災訓練体験  
 ⑰応急手当・止血訓練 ⑱応急担架搬送訓練 ⑲避難所体験 ⑳簡易トイレ ㉑ロープワーク  
 ㉒耐震屋根の重い軽い ㉓災害リスク点検 ㉔避難タイムライン ○他16項目

# 授業のねらいは ・ 対象にあわせて、カリキュラム集より提案



**1年生**: 命の学習・大切なもの  
守ろう 大切な いのち



**2年生**: 心の学習・かなしいこと・  
被害者の気持ちを考える



**3年生**: 地震の体験 命を守る  
非常持出し品と枕元準備品・  
備えを学ぶ



**4年生**: 地震災害を知る  
地震災害の話し・何が起きる  
登下校で地震が起きたら



**5年生**: 地震はなぜ起きる・  
地震のメカニズム  
町の備えを知ろう



**6年生**: 避難所体験  
自助・共助・公助  
みんなで生きよう



# 「防災カリキュラムをパッケージ化」して、小学生の防災教室単元に合せて支援する

防災教室は大型モニターで： 防災情報はパネルで：  
五年生の防災に関する総合的な学習・組単元四十五分



小グループで：



非常持ち出しキット： まちの備えを防災探検：

小学校 5年生 4クラス  
防災教室 10月1日  
(午前2組・午後2組)  
コロナ禍対策と避難所事前  
事前受付と避難所入所体験





テコの体験中



白山神社津波高台避難場所



CCNC知多半島ケーブルテレビインタビューに答える児童と先生



平成27年から中学生防災リーダー養成講座を開始・・・  
去年は、6月15日より12月21日迄・・・総合的な学習で、  
防災リーダー養成講座を全学年が履修し修得しました。



今年の中学生防災リーダー養成  
講座で、受講修了証を修得

2022/07/08

# 自慢の中学生防災リーダーが活躍！町の避難所開設訓練



町内では、防災訓練した中学生が、高齢者等要支援者に頼られる存在です。

地区高齢者への活動事例。パッケージ化した防災学習  
町内高齢者サロンでも活動

高齢者サロンでの防災講座 「水災害での避難指示」

町の避難指示で自宅で垂直避難か、水平避難か、  
防災カルテと災害ワークシートで点検し認識する。





[車いす取扱]



(活動写真)

22

[非常持出品]

# 地区自主防災会への支援：防災ボランティアの出前講座



[家具固定]



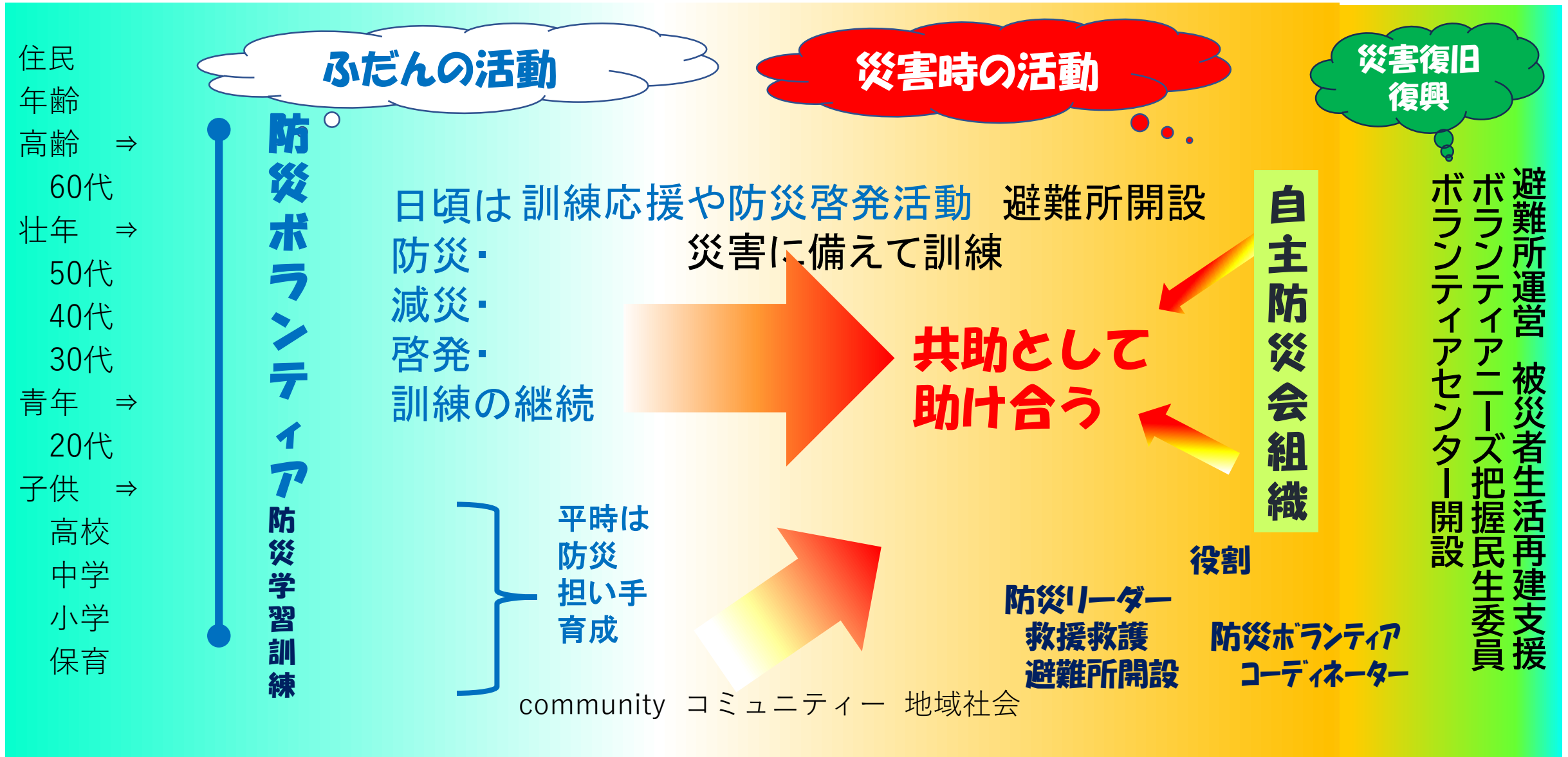
[簡易トイレ]

**災害発生後の早期救助の大切さ**を、多くの災害から学びました。  
どの町も、早期救助を目的に**自主防災会づくり**をして来ました。  
**安否確認**から、**ご近所の顔の見える関係づくり**の大切さや、  
被災地復旧には、**ボランティアの早期受入れ環境の整備**です。  
町は、**救助活動後**「ボラティアセンター」を立上げ、復旧作業のニーズを  
地域それぞれの**受援力**として、**自治会、民生委員**が窓口となり  
被災した家々を回り、ボラティア支援の要請をとりまとめて報告、  
町内で**ボラティアをマッチング**することで、**早期復旧復興**となる。

被災地で活躍するには、**災害をケガ無く生き延びる。日頃の備え**が大切です。  
自らと家族の安全安心、次に自主防災組織でのボランティア活動となります。  
武豊町は防災リーダーと災害ボランティアコーディネーターは**常に共に活動**をしています。



# 自主防災会・防災リーダー・ボランティアコーディネーターの活動イメージ



# 一時避難場所 近所の安否確認場所

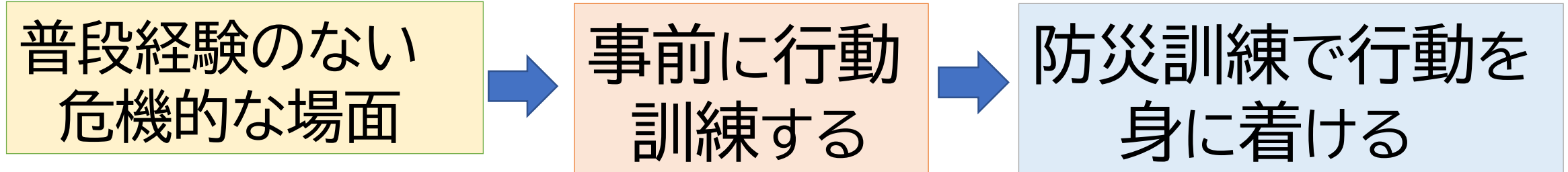
大地震発生後、まずは自分と家族、そしてご近所の安否確認をする。  
一時避難場所は、地区ごとに避難訓練で指定しています。



安否確認、倒壊家屋からの救助者、要援護者を速やかに校区避難所に個別避難誘導します。

・・武豊で取組んでいる「防災訓練の継続」は・・  
防災行動をパッケージで身に付けて、迷わず行動する。

防災知識を活かし、訓練を繰り返すことで行動を身につける。



認知 ⇒ 判断 ⇒ 行動(日頃訓練したことしか思いつかない!)

普段経験していない場面を想定して、避難行動をパッケージ化して備える。

行動のパッケージ化で次の動きが早くなる ⇒ 日頃訓練して、とっさに思いつく

適切な判断・正確な行動・臨機応変的に応用ができます。

本日は、活動事例をご紹介しました。